



営農NEWS



レタスの主要な病害虫の防除対策

レタスの生育中には、ハスモンヨトウ、オオタバコガなどチョウ目害虫やハモグリバエ類などによる食害を生じたり、アブラムシ類などが株に寄生して吸汁害などを発生します。これらの対策として、生育の初中期を対象に、ベリマークSCやジュリボフロアブルなどの育苗期後半の灌注処理、モスピラン粒剤などの定植時の株元散布などが行われており、薬剤によって処理後2週間～1か月くらいの防除効果が期待できます。

しかし、定植前や定植時に処理した薬剤の効果が切れる頃から、害虫の産卵や幼虫ふ化が始まり、発生に気づかず防除が遅れになってしまうと、幼虫の食害などにより著しい商品価値の低下や減収を招いてしまいます。

病害虫発生予報9月号（県病害虫防除所）によりますと、8月下旬現在におけるハスモンヨトウの誘殺数は、県西地域の一部で平年より多く、県南の一部でやや多い、また、オオタバコガは平年並～やや少ないと予想されていますが、一部の圃場で発生を認めていることから、今後とも作物をよく観察し、発生初期における薬剤防除を徹底してください。

一方、向こう1カ月の気象予報（8月27日発表）によると、天気は数日の周期で変わり、気温は高い確率80%と予想しています。今年は梅雨明け後から高温少雨が Continuing していますが、これから長雨や台風の時季になります。このため、病害発生にも十分注意が必要で、すそ枯病や斑点細菌病、軟腐病、菌核病、腐敗病など各種病害に注意してください。

病害虫が発生した場合には、下記を参考に、早めに薬剤防除を行って、発生の抑制に努めてください。

なお、既にご承知のように、レタスでは結球レタスと非結球レタス（リーフレタス、立ちちしゃ、サラダ菜など）で、農薬の登録内容（使用基準）が違う場合がありますので、十分に注意してください。

表1 レタスまたは非結球レタス害虫の本圃における主な防除薬剤（令和2年9月1日現在）

薬剤名	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ナモグリバエ	アブラムシ類	分類
アフーム乳剤	○●	○●		○●		6
トルネードエースDF	○●	○●	○●			22A
プレオフロアブル	○◎	○◎		○◎		un
アクセルフロアブル	○●	○●				22B
グレース乳剤	○●	○●	○●	○●		30
コテツフロアブル	○	○	○	○		13
フェニックス顆粒水和剤	○●	○●	○●			28
ディアナSC	○●	○●		○●ハモグリバエ類		5
ダントツ水溶剤				○●	○●	4A
ハチハチフロアブル				○●	○●	21A
ウララDF					○●	29

注1) 表1及び2の○はレタスで、●は非結球レタスで、◎はリーフレタスで農薬登録があります。

注2) 表1及び2の分類欄には、FRACまたはIRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 レタスまたは非結球レタス病害の主な防除薬剤（令和2年9月1日現在）

薬剤名	すそ枯病	腐敗病	軟腐病	斑点細菌病	灰色かび病	菌核病	べと病	分類
ダコニール1000	○◎				○		○◎	M5
アフエツフロアブル	○●				○●	○●		7
リゾレックス水和剤	○							14
トップジンM水和剤	○				○●	○●		1
バリダシン液剤5	○●	○●	○●					U18
スターナ水和剤		○●	○●	○				31
カスミンボルドー		○●		○●				24とM1
アグレプト水和剤		○						25
カセット水和剤		○●	○●	○●				24と31
キノンドーフロアブル		○●	○●	○●				M1
ヨネポン水和剤		○●※	○●※	○●※			○●※	M1
スミレックス水和剤					○	○		2
ファンタジスタ顆粒水和剤					○●	○●		11
ゾーベック エンカンティア SE							○●	11と49
ランマンフロアブル							○●	21
レーバスフロアブル							○●	40

注) ヨネポン水和剤の●※は、非結球レタス（リーフレタスを除く）とリーフレタスで使用基準が異なります。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040